

# 競技規則

## 【公式用品用具の使用に関して】

競技は、マテリアルチェックを受け、適合した用具を使用するものとする。

SAJ公式用品ブランド一覧

SAJホームページ⇒ライブラリー⇒マーケティング

[http://www.ski-japan.or.jp/library\\_cat/marketing/](http://www.ski-japan.or.jp/library_cat/marketing/)

## 【ヘルメットの着用に関して】

競技中はヘルメットを着用しなければならない。

## 【ビブスの着用に関して】

インスペクション等でコートに入る際は必ずビブスが見えるように着用する。

## 【スタート要領に関して】

選手は、スタート審判の合図によりスタートする。

1. 選手は各種目ともスタート地点に 15 分前に集合し、スタート審判の点呼を受け応答しなくてはならない。
2. 選手は前者のスタート後直ちにスタート位置につき準備を整える。
3. スタート審判の合図の後、直ちにスタートしない場合は、当該種目を棄権したものとみなす。

## 【フィニッシュの要領に関して】

フィニッシュは、コート下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって競技終了とする。

※安全のためフィニッシュライン通過後はスピードコントロールを行い減速すること。

## 【演技の中断等に関して】

1. 演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートする。中断が長引く場合は審判長の指示に従う。
2. 選手は、係員の補助を受けることができる。
3. やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は、当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

## 【コートインスペクションに関して】

1. コート設定後のインスペクションは原則としてコート外から行う。ただし必要がある時は事前に公示・通告し横滑りによりコート内に入り行うことがある。
2. インスペクションの際には、必ずビブスを外側に着用する。
3. 詳細については代表者会議にて伝える。

## 【抗議に関して】

抗議は監督又は、コーチが書面を持って競技委員長に提出する。ただし急を要する場合は当該コートの審判長に申し出ることができ、(競技終了後5分以内とする。)

## 【斜面の設定に関して】

1. 競技斜面は、その条件を満たせる設定を行う。
2. 種目の規制要領は、別途提示する。

## 【審判員・審判方法などに関して】

競技種目の採点は公開表示による1 ジャッジ20点満点の5審判5採用=100点満点で評価を実施  
5人の審判団を3名/2名のグループに分け、各々違った観点で評価を実施

OVERALL IMPRESSION (演技全体の構成、印象) を審判員3名×20点=60点

TECHNICAL (操作能力) / INTENSITY (運動能力) を審判員2名×20点=40点

## 【大会中の日程変更に関して】

会期中天候やその他の状況によって実施方法、コート変更する事がある。その場合は競技委員会で決定する。

## 【広報・掲示などに関して】

大会の成績及び変更内容は、公式掲示版に掲示する。

## 【順位の設定】

1. 予選4種目の合計点で決定する。  
(予選は最低1種目で競技成立とする。)  
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
2. ①フリーライディングフ(人工構築物①)の得点上位者とする。
3. 上記①で決定しない時は、②フリーライディング(急斜面整地)の得点上位者とする。
4. 上記②で決定しない時は、③フリーライディング(不整地コブ)の得点上位者とする。
5. 上記で決定しない場合は同順位とする。
6. 決勝2種目(予選4種目を合算)合計得点で決定する。  
(決勝は最低1種目で競技成立とする)  
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。  
① 決勝種目合計点の上位者とする。  
② 上記①1で決定しない時は、決勝フリーライディングフリー(人工構築物②)の得点上位者とする。  
③ ①、②で決定しない場合は同位とする。

## 【コース整備に関して】

40人(基準)毎にコース整備を実施する。

## 【ナショナルスノーボードデモンストレーター及びSAJスノーボードデモンストレーター選出基準及び要領】

SAJホームページライブラリーに掲載(令和2年9月25日改正)されている539及び554を基準とし、スノーボードデモンストレーター選考会を実施する。